



「身近な出来事やイラスト」「テーマトーク」募集中!

梅シロップ

ずっと作ってみたいだった梅シロップを今年初めて作りました。毎朝起きたら瓶全体を混ぜることが日課だった小学1年生の息子は、毎日「まだ飲めない?」と聞いてきました。そして10日後、「もう飲めるよ!」と答えるとさっそく飲んで「うめえ」と感激していました。とてもおいしかったようで、学校から帰ってきたら梅ジュースを飲むのが次の日課になりそうです。

金沢市 えつこ

父の楽しみ

102歳になる父は自分1人では外出することもできず、毎週末に私の家へ来ては生協のカタログを楽しそうに

見えています。写真付きで文字も大きく、とてもわかりやすいと喜んでます。そして「これは何や?」とか、「これはうまそーやな!」とか言ってる度も見えています。毎回必ず生協の仕組みを聞いてくる父におかしなところ、嬉しくなったり…。生協のカタログのおかげで会話も広がり、父のポケ防止にもなっています。

小松市 ずー

私のパートナー

やせ細ったおばあちゃん猫と同居中。18年も一緒だと、「ニャオー」と言っただけでお水なのか、ご飯なのか、トイレなのか、なんでもわかっちゃう。私の良きパートナーです。

金沢市 たえちゃん



七尾市 ひとみ

至福の時間は…

1歳4カ月の元氣すぎる息子。彼がお昼寝したときが唯一の私の時間。こっそり買ったスイーツを食べながら録画したドラマが見られる至福の時間。早く食べたい。早く見たい。さっさと寝かせよう。さあ寝てくれ。そう思ったときに限って全く寝ない。お布団から抜け出して絵本を持ってきたり、ブロックを持ってきたり。毎回このパターン。結局寝かすのを諦める。お楽しみのスイーツは半分(より少ない)。嬉しそうに頬張る息子。どうやら彼は私の心が読めるようだ。

金沢市 さつまいも



白山市 ゆりん

ドキドキ水遊び

1歳8カ月の息子、今年で2回目の夏を迎えました。去年、家でベビープールを用意して水遊びをすると、ちよこんと座り水をばしゅばしゅさせて怖がることはなく、楽しんでいました。しかし今年、「去年より楽しめるやろうなあ」と思っていたら、プールを前に棒立ちの息子。一緒に入ろうと誘っても嫌がっていました。でも水遊びは楽しいみたいで、ジヨウロから出る水を喜んで触っていました。それも成長なのかなと思いつつ、今年の夏は息子と一緒に水遊びを楽しめるようにおもちゃを作ったりして頑張るぞ〜!

加賀市 はっちママ

お弁当作り

今年高校1年生になった孫娘はお弁当を作り始めました。生協さんの冷凍食品がほとんどですが、唯一、毎日作るのが卵巻きです。最初は失敗しましたが、最近ではとても上手に作れるようになりました。毎日、夜に作って冷蔵庫に入れます。朝、炊きたてのご飯を冷まして私が詰めます。お菓子作りなど作ることが大好きな孫娘です。これからのいろいろとチャレンジしてね。

白山市 白山プリン



雪を融かすスプレー

ずっとあったらしいなと思っているのは、スプレーをかけたらしユワーツと雪が融けるスプレーです。出勤時、雪で立ち往生したり、除雪車が通った後、雪の塊が車庫の前に立ちほだかっていたり…。力のない自分は四苦八苦です。太陽が出たら一瞬で消えてしまう雪。人工お日さまができないかな。

加賀市 空の星

分身

長女5歳、長男3歳、次女1歳の子育てに日々奮闘です。同時に泣かれたり、呼ばれたりと身体一つじゃ足りません。家事、仕事、子どもの相手ができるように自分の分身があったらいいな。

金沢市 TODO

魔法

私がいともあったらいいなと思うのは、魔法です(笑)。小さい頃の

夢は空を飛ぶことで、その頃から魔法があったらいいなと妄想していました。今は、立つのが面倒くさいときに目的まで飛んでいく魔法と、忘れ物を瞬時に呼び寄せる魔法があればなあとよく妄想しています。

金沢市 ちゅっこ

しあわせBOX

その箱を開けるといつでもどこでも“幸せなとき”を思い浮かべることができると携帯用BOX。私はわが子が赤ちゃんだった頃の写真をみると、次また頑張ろう!!と前向きになります。よく考えてみたらこれってすでにありますね。スマホやデジカメが私の「しあわせBOX」です。

金沢市 花ちゃん



内灘町 バーバラの孫

どこでもドア

何か困ったとき思い出すのはやはりドラえもん。道具。県外に就職した娘が仕事で疲れすぎてご飯を食べずに寝てしまったなんて話を聞くと「どこでもドア」があればご飯を食べさせてやれるのに…なんて考えてしまいます。何があってもご飯だけはちゃんと食べてほしいのです。

金沢市 ももんが

天国に届くポスト

「天国に届くポストがあればいいのに…」ひいばあちゃんが亡くなったときに、孫が手紙を書いて言っていた言葉です。昨年、夫が亡くなったとき、そのひ孫がまた同じようなことを言いつつ手紙を書いていました。お返事は夢の中でいいから、天国のひいじいちゃん、ひいばあちゃんに届くポストがあったらいいな。

金沢市 おばい

今回のテーマトークのお題は「人生の岐路」



お兄ちゃんになる

わが家には今年3歳の息子と1歳の娘がいます。まだお互い小さくて、うまく関わるのが難しい2人ですが、最近嬉しい関わりがありました。

先日、車に乗って子どもたちと3人で買い物に出かけたとき、娘が眠いのか暑いのか走行中に泣き出しました。私は運転中で後ろを見るのができず、停まってあやすことも難しく、悩んだ末に息子に「ちよつと○○ちゃん(妹)のおててトントンしてあげてくれる?」と言ってみました。息子は少し考えて、隣のベビーシートの子の手を何度かトントン。すると、娘が泣き止みましました。もう少し続けさせてみると、声を出して笑ってくれました。息子に「□□くん(兄)のおかげで○○ちゃん(妹)笑ってくれたね、ありがと」と言うと、何だか誇らしげに笑ってくれました。少しずつ「兄」になっているようで、嬉しく思った出来事でした。(ちなみに後日、泣く兄の座席をトントンする娘の姿を見ることがあります。)



機関紙 モニターによる エッセイ

書き人 R・K